

普通教室

普通教室は、生徒たちが毎日多くの時間を過ごす重要な学習空間であることから、学習効果を高め、快適な環境を実現する計画とします。

1. 採光と照明

- ・自然光を取り入れるために、窓を大きく配置します。
- ・照明は、明るく高効率なLEDを採用します。

2. 黒板とホワイトボード

- ・教室前面にはプロジェクター投影と板書を考慮した、低反射のグレー黒板（ワイド）を設置します。
- ・教室背面にはホワイトボード壁を設置し、前後と併用することで、進捗スピードの違う学習指導や、生徒の自発的な活動を引き出すものとして計画します。

3. 収納

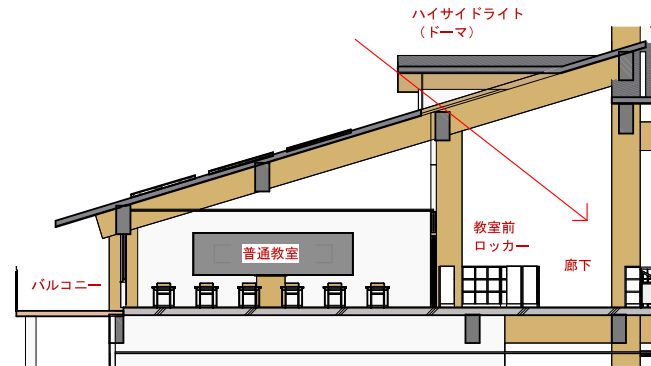
- ・生徒一人2つの生徒ロッカー、コート掛け、タブレット充電+保管庫の収納を確保します。
- ・教室前廊下の幅を広く取り、可動式生徒ロッカーを設置することで、利用状況に応じて様々な空間の使い方ができるように計画します。
- ・教室内のロッカーを最小限にし、教室内の学習環境を向上させた計画とします。

4. 建具

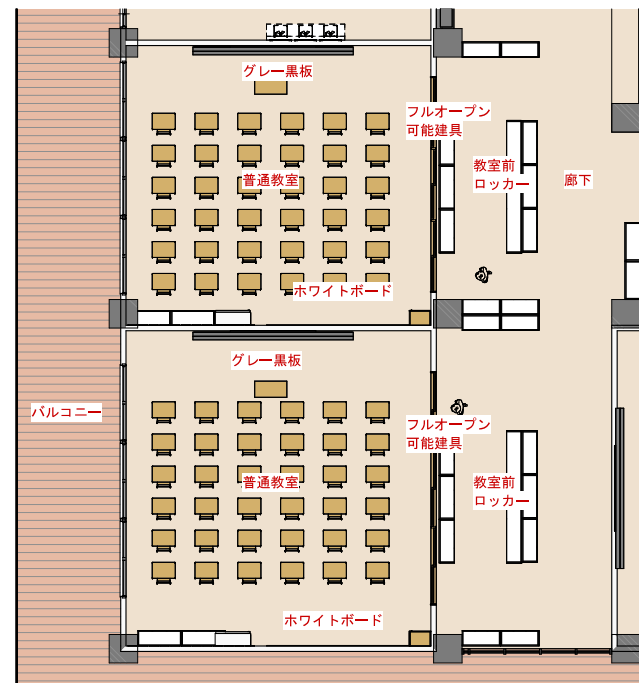
- ・教室のガラスを2重サッシとし、小エネルギーで温熱環境の向上と、道路と鉄道からの音を有効的に遮音可能な窓とします。
- ・教室と廊下境の建具にフルオープンが可能な建具とし、利用状況に応じて廊下空間に拡張できる仕様とします。また、遮音にも十分配慮した仕様の建具を計画します。

5. その他

- ・全教室の外部にバルコニーを設け、避難の容易さ、清掃などの維持管理の容易さなどに配慮した計画とします。



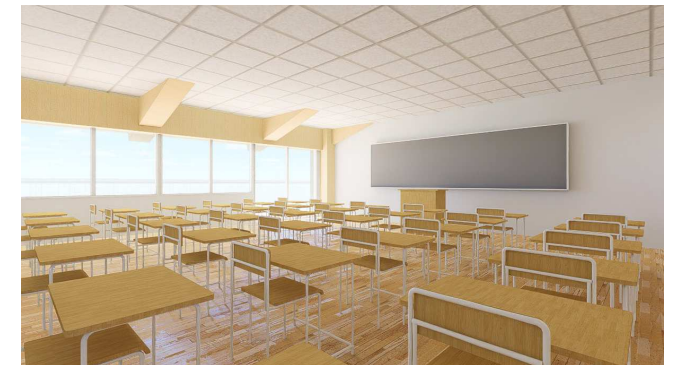
普通教室 断面図イメージ



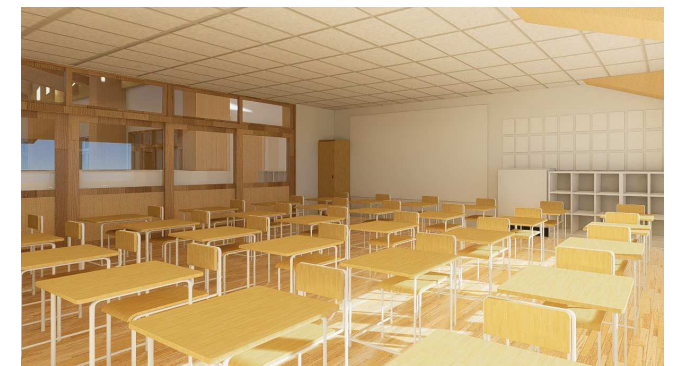
普通教室 平面図イメージ



普通教室 教室前ロッカーイメージ



普通教室 前面イメージ



普通教室 背面イメージ

多目的教室

4部屋設ける多目的教室は、配慮の必要な生徒が落ち着いた環境で過ごせるよう、動線をコンパクトにまとめ、利用のしやすさに配慮した計画とします。

1. 配置について

- ・一般生徒用昇降口から距離を置いた位置に専用玄関を設けます。
- ・男女トイレ、多機能トイレ、手洗い場に近接し、動線がコンパクトになるように計画します。
- ・保健室に隣接させ、連携の取りやすさに配慮します。
- ・一般生徒の動線と交錯させず、廊下にも適宜壁を設置し、視線に配慮した計画とします。

2. 室内について

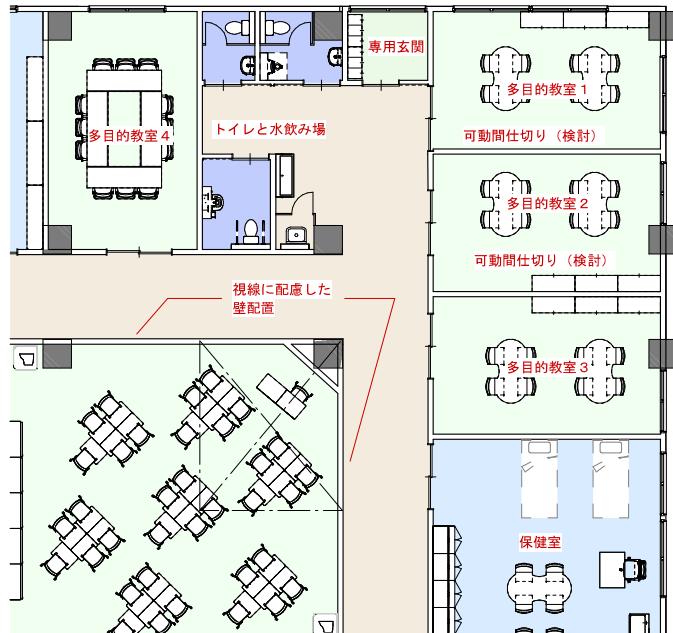
- ・部屋境壁を将来の様々な要求に応えるため、稼働間仕切り（遮音に配慮）とすることを検討します。
- ・心が落ち着くような落ち着いた内装計画とします。



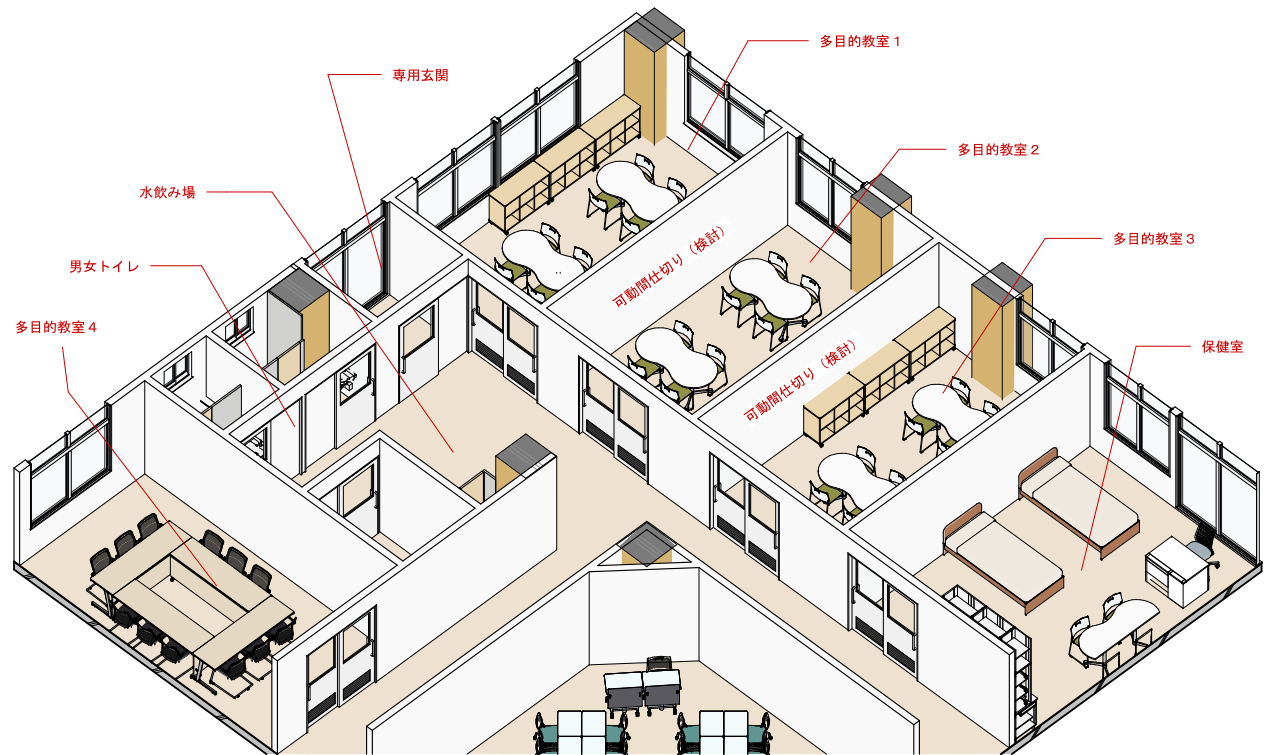
多目的教室イメージ2



多目的教室イメージ1



多目的教室平面 イメージ



多目的教室アクソメ イメージ

特別支援教室

インクルーシブ教育（※注1）に向けて、障がいのある生徒と障害のない生徒との日常的な交流が促されるような、通常学級と特別支援教室の配置計画とします。

（※注1）

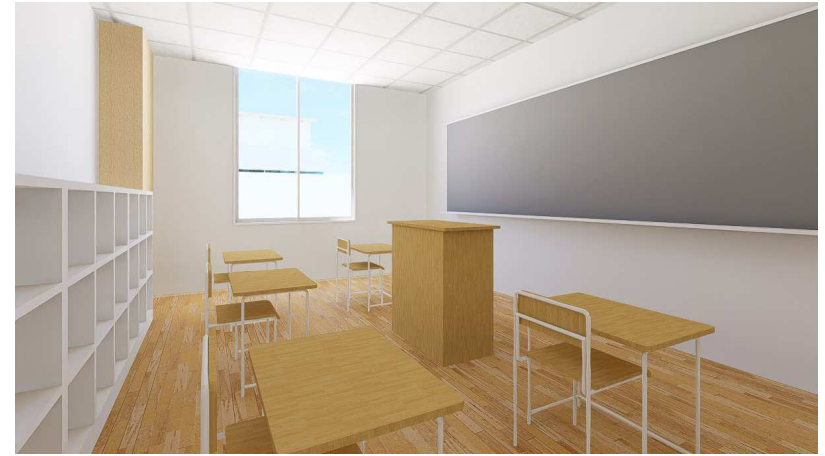
インクルーシブ教育：合理的配慮のもとに障がいのある生徒達が通常学級に在籍し、障がいのない生徒達と同様に教育、指導を行う教育方針。

1. 配置について

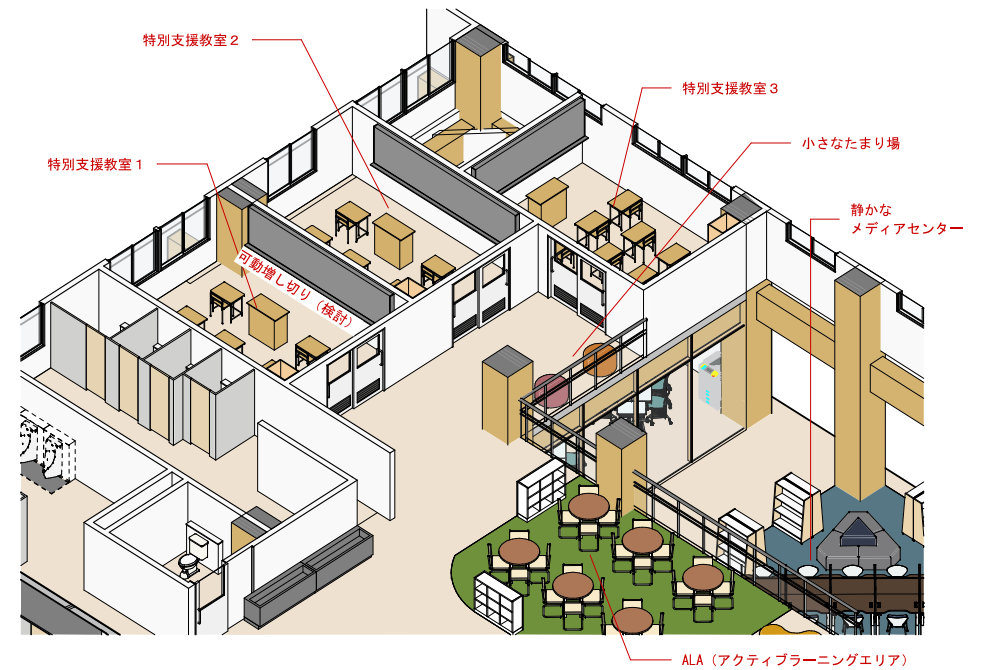
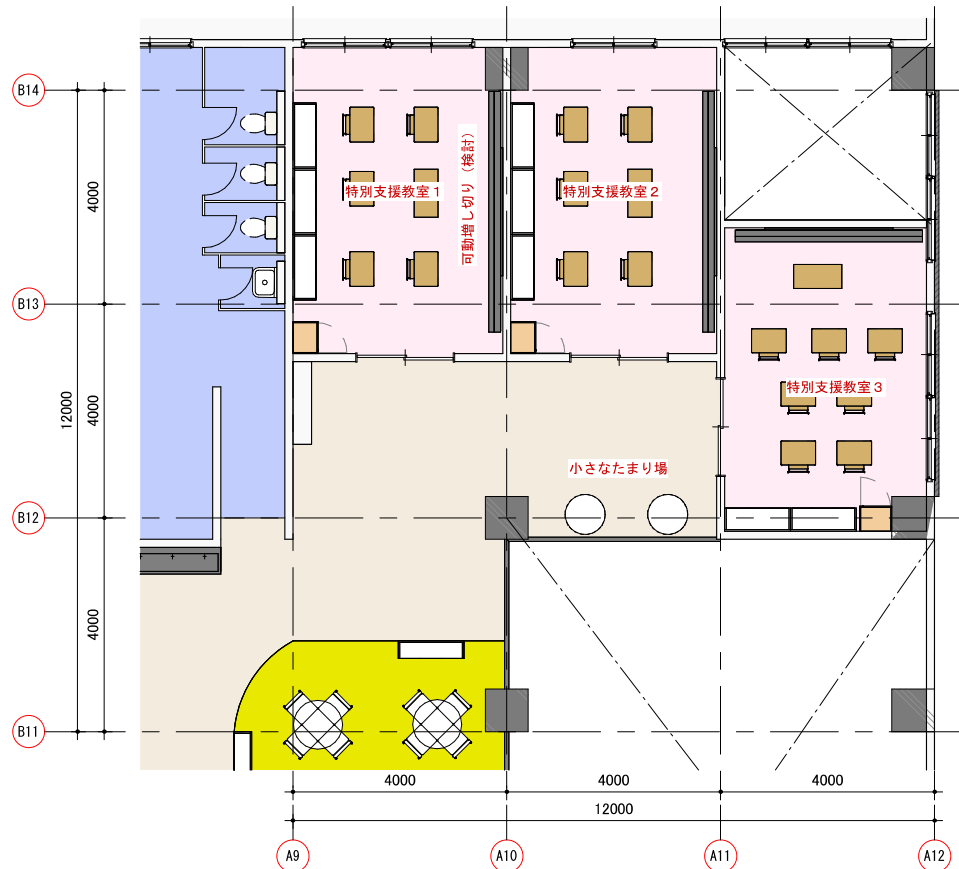
- ・普通教室と同じ2階に3部屋設け、他の生徒と日常的に交流できる配置計画とします。
- ・普通教室とは吹抜け空間を挟むことにより、程よい距離感をとることができ、落ち着いた生活、学習が可能な計画とします。

2. 室内について

- ・部屋境壁を将来の様々な要求に応えるため、移動間仕切り（遮音に配慮）とすることを検討します。
- ・心が落ち着くような落ち着いた内装計画とします。



特別支援教室 イメージ



特別支援教室 アクソメイメージ

トイレ計画

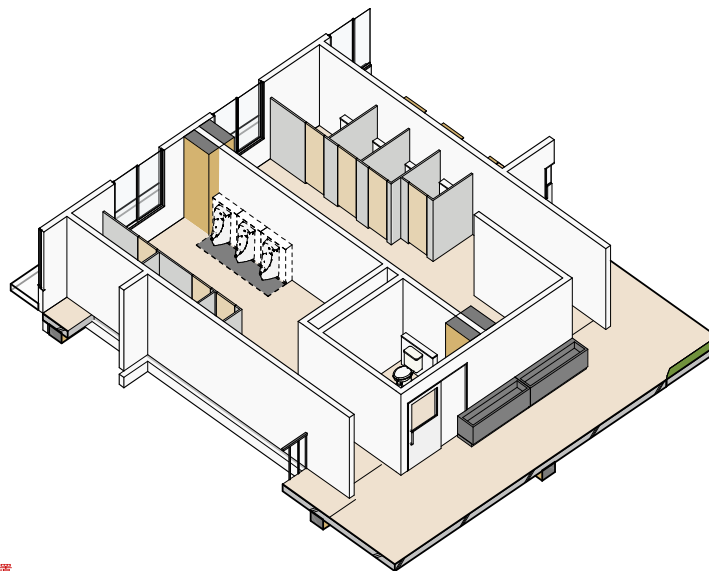
清潔で明るいトイレは、健康的な生活を送る上で重要な要素の一つです。2階にはトイレを学年毎で利用できるように3か所設置し、気持ちの良いトイレ空間を計画します。

1. 配置について

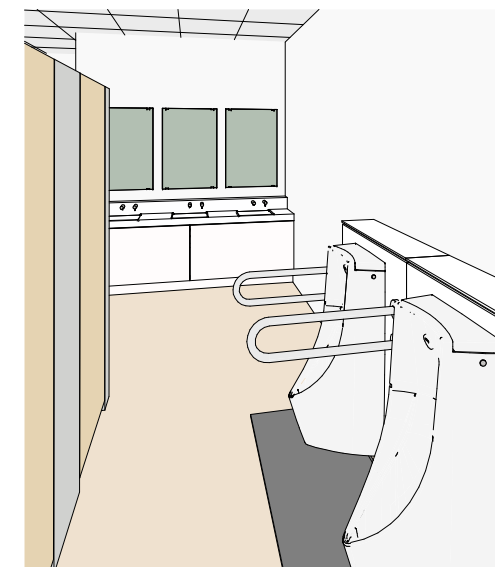
- ・1階：保健室利用者等に配慮して、トイレを近接して配置します。
- ・2階：各学年毎で利用できるよう、3か所のトイレをバランスよく配置します。

2. 仕上げについて

- ・扉を設けない出入口を基本とし、衛生面に配慮した計画とします。
- ・清掃のしやすい仕上げとします。
- ・明るく、清潔感のある空間にする。



トイレ アクソメイメージ

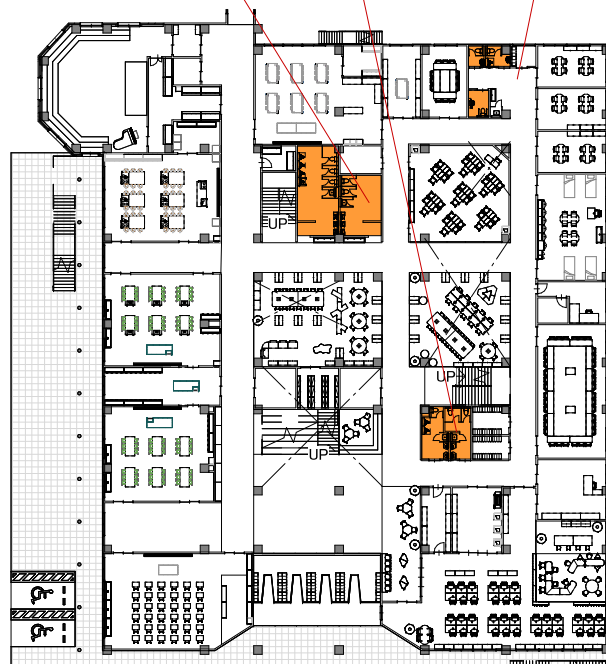


男子トイレ イメージ

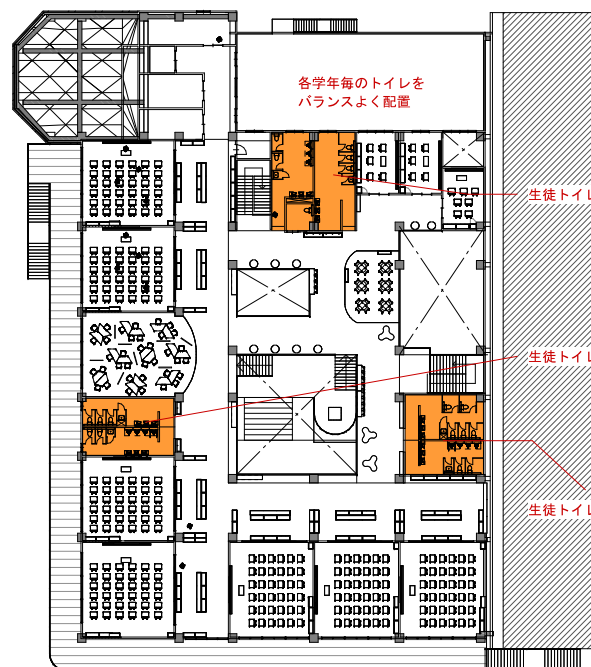
職員トイレ兼来客用トイレ
・来客者が訪れやすい位置に配置

生徒トイレ
・多目的室と保健室、玄関に近接して配置

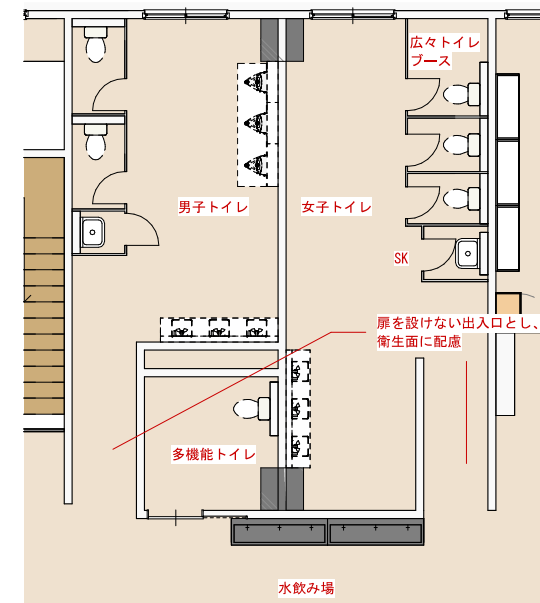
生徒トイレ



1階トイレ位置図



2階トイレ位置図



トイレレイアウト イメージ

職員室・管理諸室

近年、文部科学省でもよく取り上げられているウェルビーイングとは「Well（よい）」と「Being（状態）」を組み合わせた言葉で、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念です。この学校では生徒のよりよい学習環境を整備することはもちろん、先生たちにとっても働きやすい職場環境であり続けられるよう、ウェルビーイングな施設として整備していきます。

1. 休憩ラウンジについて

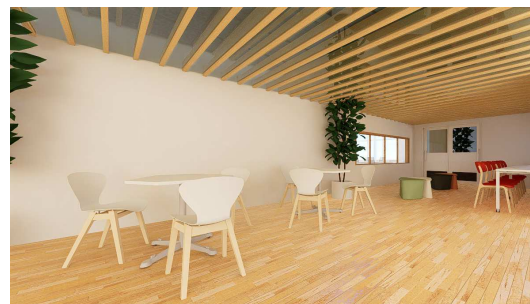
- ・先生方が生徒の視線を気にすることなく、カフェのような空間で休憩やデスクワーク、ミーティングなどが可能な空間とし、ウェルビーイングな職場環境を整備します。

2. ティーチャーステーション(T.S)について

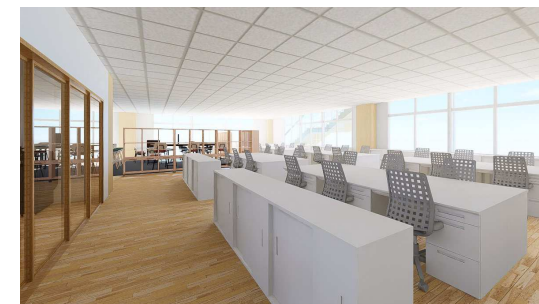
- ・生徒が職員室に立ち入らずに気軽に質疑ができ、来客があった際は来客対応の場所として利用できる空間として整備します。

3. 職員室について

- ・職員の人事異動やレイアウト変更の容易さに配慮した計画とします。
- ・印刷室や更衣室、職員トイレ、会議室等、職員が利用する部屋をコンパクトにまとめた計画とします。



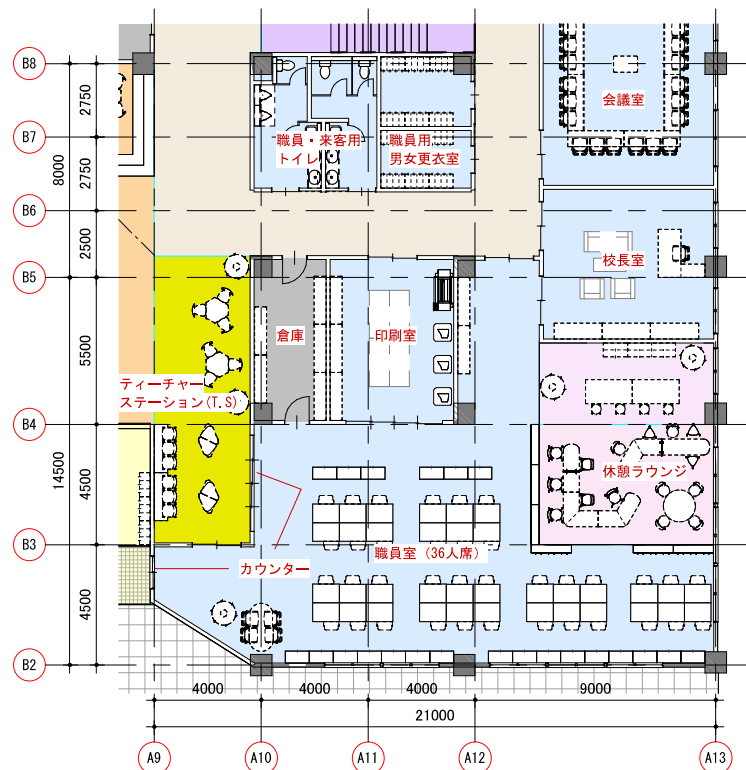
ティーチャーステーション(T.S) 内観イメージ



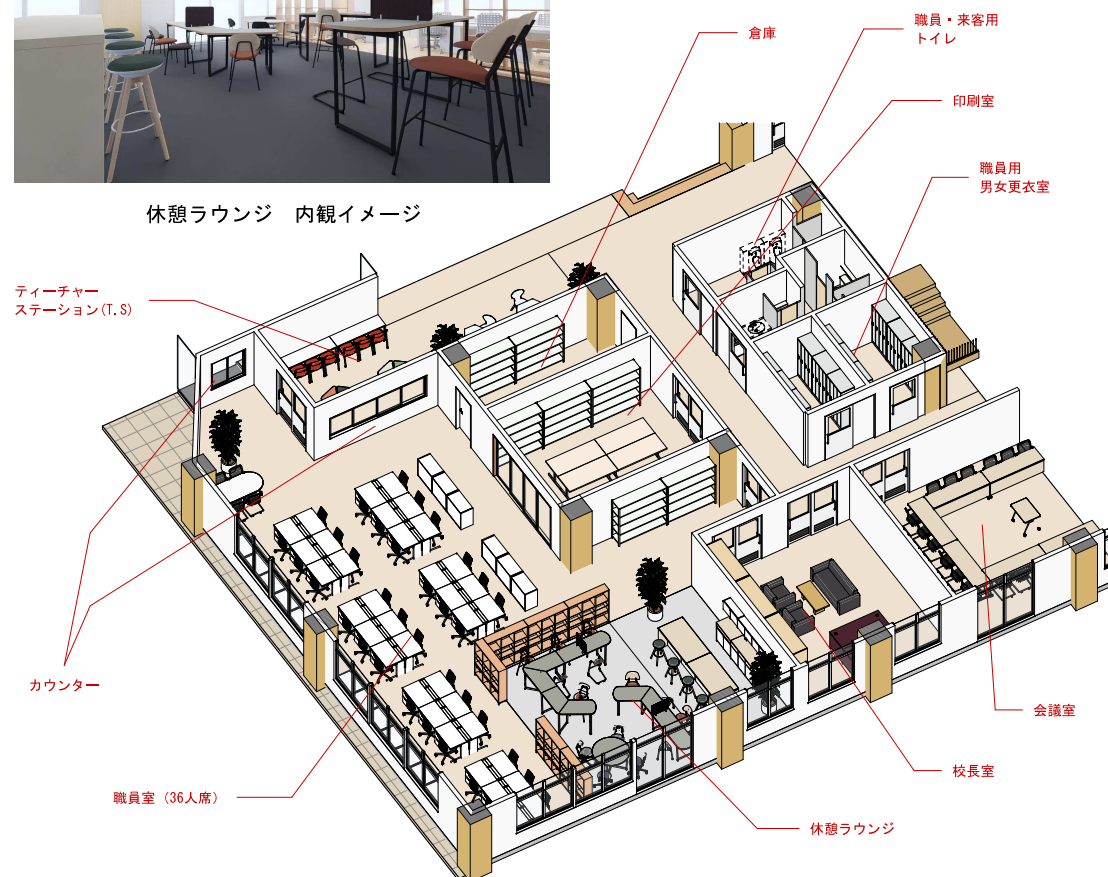
職員室 内観イメージ



休憩ラウンジ 内観イメージ

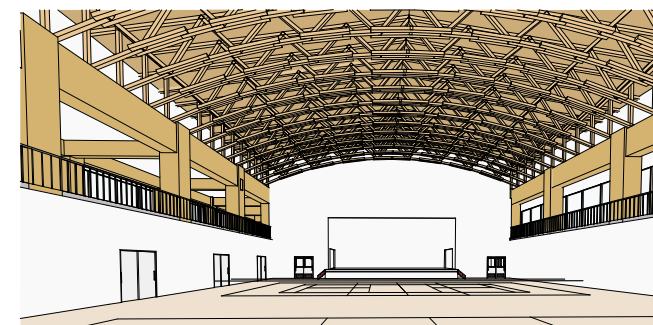
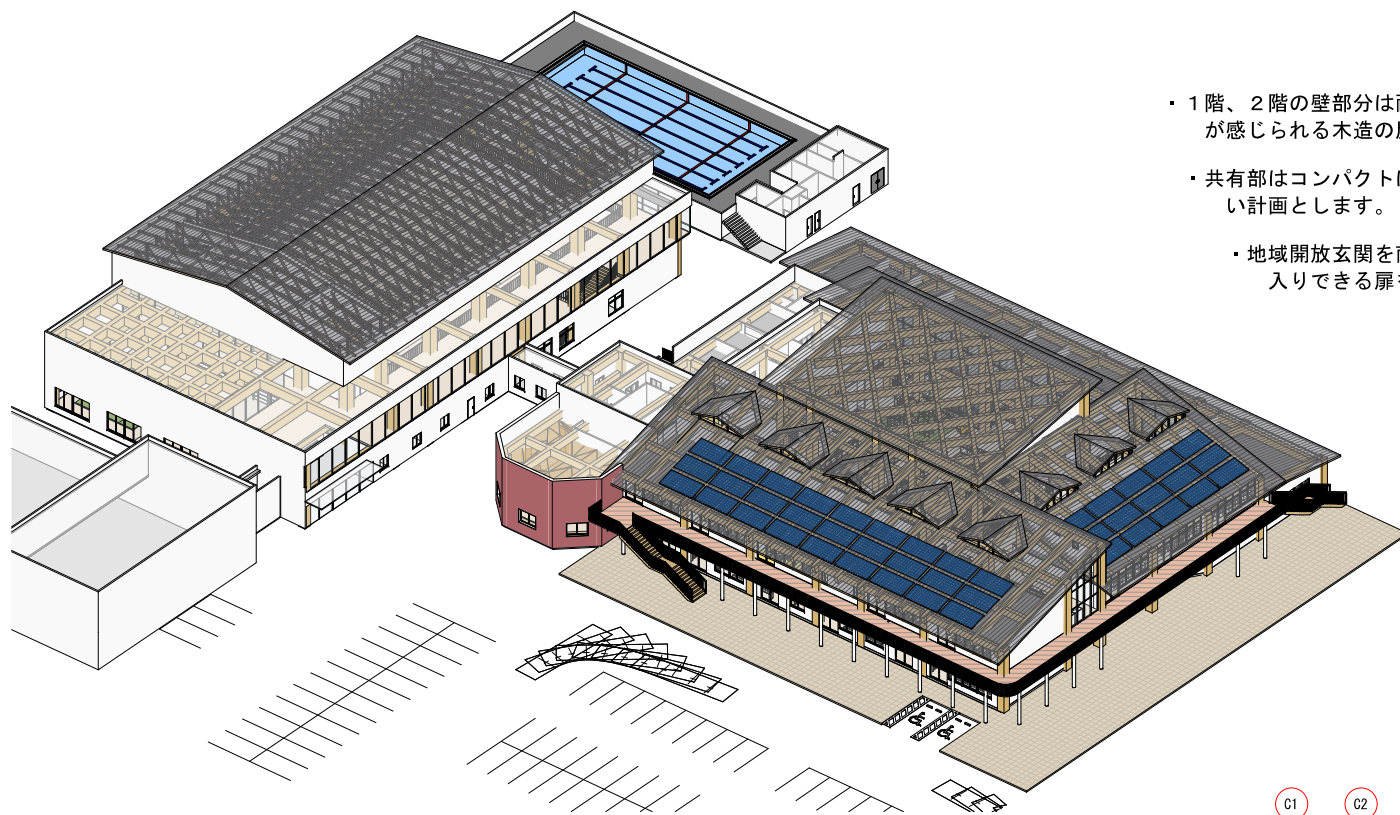


職員室 平面イメージ

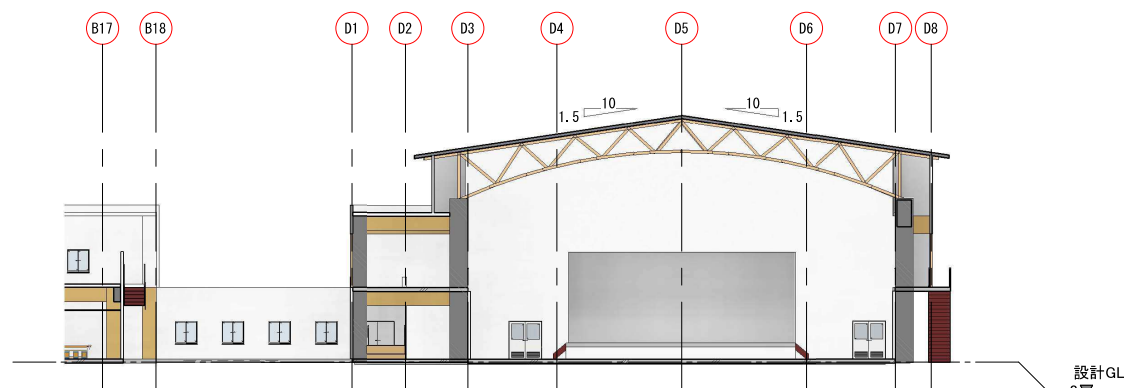


屋内運動場及び柔剣道場

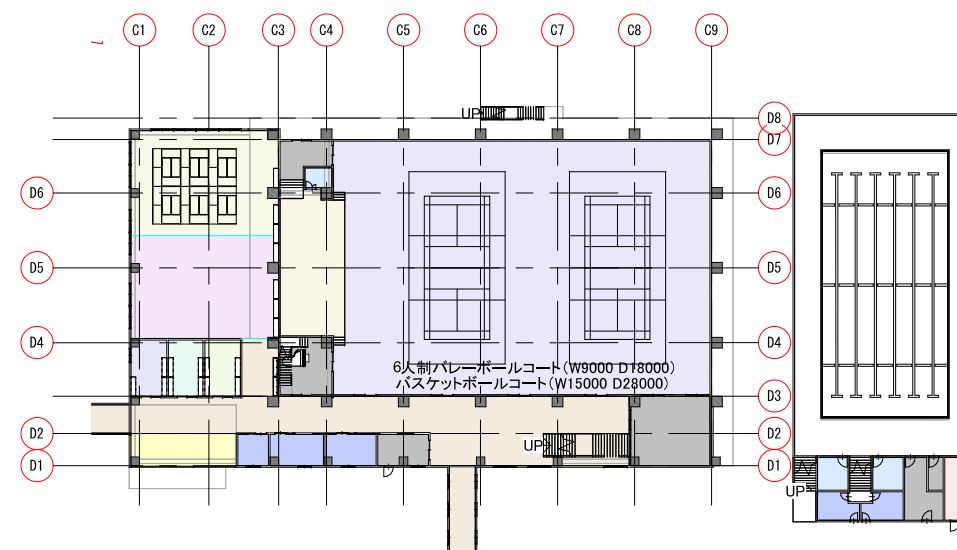
- ・ 1階、2階の壁部分は耐久性に優れた鉄筋コンクリート造とし、屋根部分は迫力があり、温かみを感じられる木造の屋根を計画します。
- ・ 共有部はコンパクトにまとめつつ、屋内運動場の利用者と柔剣道場の利用者の双方が使いやすい計画とします。
- ・ 地域開放玄関を南側駐車場に、グラウンド側からは運動会利用時のことを考慮し、直接出入りできる扉を設け、アクセス性に配慮した計画とします。



屋内運動場 内観イメージ



屋内運動場 断面イメージ



屋内運動場及び柔剣道場 平面イメージ

施設維持管理コストの低減方策

- 1. 建物を丈夫に作る**
・積雪寒冷地の建物として、耐候性・耐久性を高めた建築とします。
- 2. 施設保全・修繕を容易にする**
・特殊な工法や材料を使用せず、地元業者でも修繕できるよう配慮します。
- 3. 施設機能維持のための無理のない省エネルギー化**
・地域の風土を理解して、断熱性能の強化やパッシブエネルギーの活用など施設機能を整備します。

岩手町 SDGs 未来都市 共創プロジェクトへの取り組み

7 環境にやさしいエネルギー	12 持続可能な産業
9 林業活性化	13 炭素貯蔵
11 地方創生	15 伐って、使って、植える

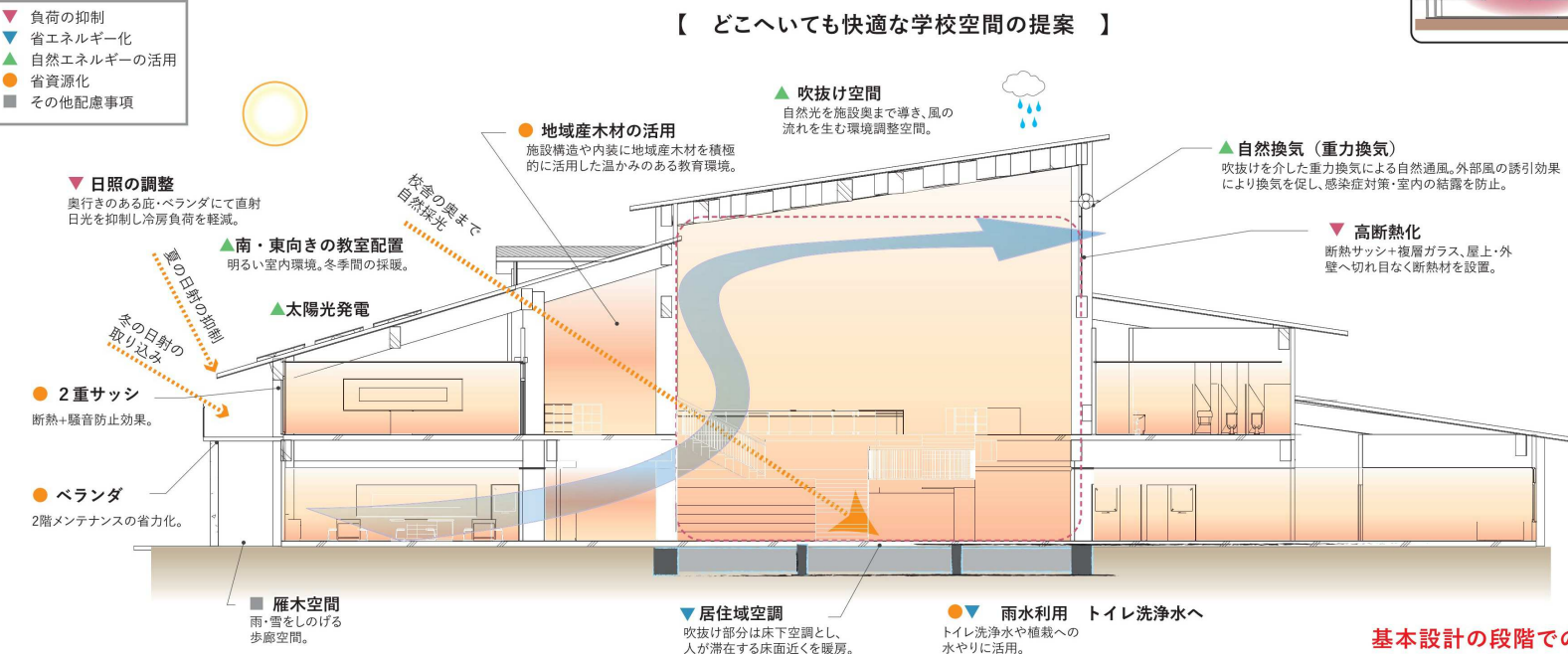
岩手町の自然と呼吸する環境建築

1 雪や寒さから守られた快適な温熱環境
雪国仕様の高気密・高断熱化

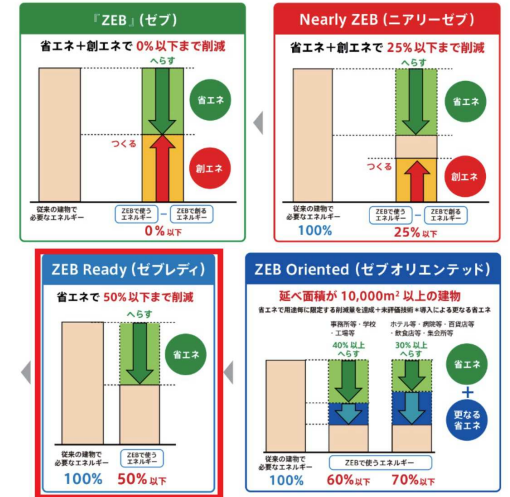
2 岩手町の「地域特性・自然環境」を活用
自然エネルギー活用
太陽光パネル
西風・自然換気
自然光

3 ZEB Ready を目指す環境技術
一次エネルギー量削減
更なる省エネ + 省エネ
エネルギー消費量
再生可能エネルギー等による削減
一次エネルギー量
50%以上削減

【 どこへいても快適な学校空間の提案 】



ZEBの定義（環境省ホームページより）



基本設計の段階での BEI 概算値 0.43 (ZEB Ready 達成水準)

■ 建物内のどこでも温かい

・冬の寒さ対策に主眼を置いた施設とし、雪国仕様に基づいた高気密・断熱化により、施設の環境性能を向上します。

箇所	木造部分	鉄筋コンクリート造部分
断熱構成	室外 通気層・付加断熱・充填断熱 室内	透湿性防水・複層塗材・現場発泡ウレタン 室内
	・アルミ+樹脂複合サッシ・複層ガラス(Low-Eガラス)	・ビル用アルミサッシ・複層ガラス(Low-Eガラス)

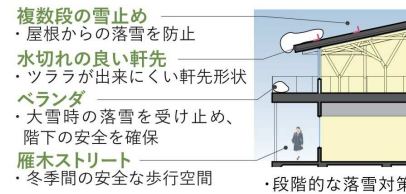
■ 部屋の特性に応じた空調方式の採用

・室内の利用時間や空間の特性に合わせ最適な空調方式を選定し、快適な温熱環境とともに、省エネルギー化を図ります。
・個別空調方式を採用することで効率的に空間を温め、エネルギーのロスが少ない施設を目指します。

箇所	メディアセンター（吹抜け空間）	普通教室など
空調方式	・吹抜けの床下付近を温める居住域空調。（空気床下空調） ・吹抜け部天井にはサーキュレーターを設置し暖房効率を高めます。	・2重サッシを基本とすることで、断熱効果を高めると同時に、道路や線路からの騒音防止にも役立ちます。

■ 雪対策

・屋根は無落雪とし、大雪時でも2階のベランダにて受け止め、屋根下の歩行者の安全を守ります。
・屋根形状をシンプルにし、スガモレやツララを防止します。
・建物周りには冬季間は堆雪場となる空地を確保し、除雪の省力化を図ります。



■ 環境意識を育む「見える化」と「エコサイン」

・「見える化」したエコ教材や、学校での環境配慮の取組を図案化した「エコサイン」を配置し、目で見て実体験を持って環境保全意識が育まれる環境とします。



■ 施設維持管理負担の軽減

施設管理の容易さ	施設の長寿命化
・冷暖房設備の消し忘れ防止のため、職員室に集中管理システムを配置。 ・特殊な形状が少なく、汎用性の高い建材を使用。	・教室前にベランダを設け、高所の外壁や窓のメンテナンス、清掃の容易さに配慮。 ・外壁へ耐候性・防汚性の高い建材を採用し、汚れを付けず美観を長期に渡り維持。 ・設備機器などにはLED照明を始めとした長寿命機器の採用を優先。

■ 将来を見据えた更新性への配慮

・使用する建材や設備機器には、極力特殊な工法・部材を必要としない計画とし、更新の際にも地元の施工者でも対応でき、工期・費用面で容易に部材の調達可能な計画とします。